



ホスピタールグループの新病院として透析医療と地域医療に貢献 新生会第一病院新築移転

ホスピタールグループの中で一番最初に開設された新生会第一病院が2018年5月1日、名古屋市天白区高宮町に新築移転オープンしました。

自然豊かな街並みが一望できる高台に位置した新病院は、地域の皆様を見守っているかのような佇まいです。

新たな地で、信頼される医療の充実に向けて、高性能な機能と設備が整えられました。

透析医療のスペシャリストとして他職種スタッフ間の連携、地域の医療・介護・福祉施設との連携を密にし、地域社会を支えています。

新生会第一病院は、透析医療の拡充と地域包括ケアへの貢献をコンセプトに新築移転しました。オープンに先立って4月20日、21日に竣工記念式典と内覧会が開催されました。医療関係者はもちろん、地域の皆様もたくさん足を運んでくださり、賑わっていました。名古屋記念病院のスタッフたちも、興味津々に見学されていました。

案内された院内は総合受付をはじめ、どのフロアも十分なゆとりがあり、落ち着いて透析医療やリハビリテーションが受けられる環境です。また臨床栄養科のメニューも紹介されており、温かいおもてなしの心も感じられました。



- 1 屋上から望む北西の景観。
- 2 透析室は2階と3階にそれぞれ50床となり、合計100床に増床されました。直接風が当たらない輻射空調を採用し、長時間の透析治療にやさしく快適な環境となっています。
- 3 4階にあるリハビリ室は見晴らしがすばらしい開放的なスペースです。訓練用のキッチンが新たに設置され、実際の家事訓練も行えるようになりました。
- 4 病室はゆとりの配置でプライベートに配慮されています。透析室・リハビリテーション室は病棟と隣接しているので移動がスムーズになりました。
- 5 送迎車の乗り入れ用に、建物北側にスロープを設けました。通院患者さんは2階から直接出入りでき、段差なく透析室に移動ができます。
- 6 手術室は2室に増室したことで、シャント手術体制が強化されました。

新しくなった新生会第一病院ですが、今まで通り患者さんご家族に寄り添った医療の提供に努めていきます。入院から退院までの在宅復帰の支援、患者さんにあったセルフケアの提案や家族看護・家族交流会などのサポートもさらに力を入れて、患者さんの生活の質の向上を支援し、アットホームな病院をめざします。



新病院
新生会第一病院

名古屋市天白区高宮町 1302
Tel.052-808-2100

●交通のご案内

名古屋営バス「一ツ山住宅口」
下車徒歩3分

新病院
概要

診療科目 / 内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病・内分泌内科、外科、血管外科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
病床数 / 144床 ・ 一般病棟 48床 (急性期一般入院料 5/ 地域包括ケア病床 20床) ・ 療養病棟 96床 (在宅復帰強化型)
透析室 / 100床